



彩の技術士

公益社団法人 日本技術士会 埼玉県支部
The Institution of Professional Engineers, Japan

こうほう・Vol.18.2021.11.1.

〒333-0844 川口市上青木3-12-18 SKIP シティ A1-706B
埼玉県支部事務局
Tel.: 048-263-0840, Fax.: 048-263-0841
<http://www.engineer.or.jp/shibu/saitama/index.html>

目次

巻頭言	ものづくり大学 学長 赤松 明
支部長挨拶	日本技術士会埼玉県支部長 若林 直樹
委員会活動紹介	
総務企画委員会	委員長 白岩 信裕
CPD委員会	委員長 増古 恒夫
科学技術振興委員会	委員長 中田よしみ
地域産業支援委員会	委員長 近藤 孝
地域活性化委員会	委員長 若林 直樹
技術士一次/二次試験合格者祝賀会報告	CPD委員会 白岩 信裕
新技術士会員紹介 石井 孝暢 大竹 史郎	金内 良夫 中村 剛
2021年度年次大会報告	CPD委員会 伏見 隆夫

巻頭言 テクノロジスト ものづくり大学 学長 赤松 明

わが国で唯一の技術士による公益社団法人として、70周年を迎えられたとのこと、心よりお喜び申し上げます。高度な専門技術者である技術士の皆様は、たえず技術進歩に応じ、自身の知識と能力を向上させ、社会からの信頼、産業の健全な発展、人々の幸せな生活実現のために貢献されてきました。昨今の科学技術の進歩や社会ニーズの変化、環境の変化などが劇的に変化しているなか、業務への対応に大変なご努力をなさっていることかと推察し敬服いたしております。さらに、新型コロナウイルス感染症が、いまだ収束せず地球規模で蔓延していますが、設備・機械・機器などの維持管理や技術相談などの対面業務が多い皆様は、徹底した感染防止を行った上で業務を遂行されていると思います。実験・実習の多い本学においても、どうしても対面で授業を行う必要があるため、教員1名当たり5~6人の受講人数として、マスク及びフェイスシールドを着用しながら3密を避け、実物を目にし、手で触れ、体感できる授業を行っています。一方、多人数が受講する学科目(座学)は、オンラインでの授業としています。

ところで、本学の英語名 Institute of Technologists (IOT) は、岩崎夏海著「もし高校野球の

女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」で有名な故ピータ・F・ドラッカー先生によって名付けられ、単に理論がわかるだけでなく、高度な技術・技能の腕も併せ持っているテクノロジストを育成する大学であるとされました。そして、「テクノロジストこそ、先進国にとって唯一の競争力要因である」と記され、「先進国の一員であり続けたいのならば、ものづくりから離れるなど、もってのほかである。純粹の知識労働者を持つだけでは、最先端を進むことは不可能であるからだ。」とも述べられています。

本学は、単に理論がわかるだけでなく、高度な技術・技能の腕も併せ持った人材を社会に輩出することを期待されています。そこで、日本技術士会の技術士プロフェッション宣言に示された産業の健全な発展のために、本学も伴に貢献したいと考えております。つきましては、今後とも貴支部のご協力とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



赤松 明 学長

*) : 明日を支配するもの—21世紀のマネジメント革命 ピータ・F・ドラッカー(著)上田敦生(翻訳)ダイヤモンド社(発行)

支部長挨拶

日本技術士会 埼玉県支部長 若林 直樹

はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、日々感染防止にご尽力されている医療関係者をはじめ、官公庁・諸団体・各企業や地域の方々等、多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

本年6月の改選及び7月31日の年次大会により支部長に選任され就任いたしました。引き続き「技術の力で地域の発展に貢献」の基本方針のもと甚だ微力でございますが、皆様のご期待に添うべく一層の努力をいたす所存でございますので宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年1月より世界に広がった新型コロナウイルス感染症の蔓延は、私たちの日常生活を一変させてしまい、現在も収束する見通しがたたない状況が継続しています。そのようななかで、当支部は感染防止に注力しつつ、活動を停滞させてはならないという強い意志のもと、事業の進行に努めてまいりました。とくに、Web会議の有効活用によって、成果を出すことができましたが、見学会等の対面形式の行事は中止または延期をせざるを得ない結果となりました。今後、感染防止に最大限の対策を講じ、活動を継続・発展させていく所存でございます。



若林 直樹 支部長

新型コロナウイルス感染拡大という情勢のなか、我が国を取り巻く社会経済状況は、国民一人ひとりにデジタル社会の構築、脱炭素社会の実現という新しい時代の到来への対応が求められています。「デジタル」に関しては、デジタルトランスフォーメーション(DX)への取り組みが、また「脱炭素」では、再生可能エネルギー利用等によるカーボンニュートラル実現が注目されています。さらに持続可能な開発目標(SDGs)への貢献へ対応していく必要があります。以上の課題解決に関しては、21部門を有する技術士が、いままでの経験と知見を発揮することによって貢献可能と考えています。その一方、我々技術士は、継続的な資質向上という責務があり、引き続き自己研鑽に努めていきます。以上、極めて不透明な時代を迎えておりますが、従来にも増して技術士が活躍できる環境づくりに力添えをいただきたくお願い申し上げます。最後に皆さまのご健勝を心よりお祈り申し上げます。

埼玉県支部役員

氏名	役職	所属委員会	技術部門
若林 直樹	支部長・地或活性化委員会委員長	地或活性化委員会	建設 総合技術監理
近藤 孝	副支部長・地或産業支援委員会委員長	地或産業支援委員会	金属
白岩 信裕	副支部長・総務企画委員会委員長	総務企画委員会、CPD委員会	化学 総合技術監理
増古 恒夫	CPD委員会委員長	CPD委員会	情報工学 総合技術監理
中田 よしみ	科学技術振興委員会委員長	科学技術振興委員会、総務企画委員会、地或活性化委員会	原子力・放射線
横山 正巳	総務企画委員会副委員長	総務企画委員会、CPD委員会、地或産業支援委員会	上下水道
菅原 宏	CPD委員会副委員長・支部会計担当	総務企画委員会、CPD委員会	応用理学 総合技術監理
佐藤 佳則	科学技術振興委員会副委員長	科学技術振興委員会	電気電子
若井 一顕	地或産業支援委員会副委員長	地或産業支援委員会	電気電子
小柳 直昭	地或活性化委員会副委員長、北信地或小委員会委員長	地或活性化委員会、地或産業支援委員会	建設
平松 達生	東信地或小委員会委員長	地或産業支援委員会、地或活性化委員会	上下水道 総合技術監理
近藤 訓	西信地或小委員会委員長	地或活性化委員会、地或産業支援委員会、CPD委員会	金属
桒本 信一	会計幹事	地或産業支援委員会、地或活性化委員会	金属
村山 肇	会計幹事	総務企画委員会、CPD委員会	金属
石田 正雄	支部幹事	地或産業支援委員会、地或活性化委員会	金属
出森 公人	支部幹事	地或産業支援委員会、総務企画委員会	電気電子
黒澤 兵夫	支部幹事	科学技術振興委員会	情報工学 総合技術監理
穴戸 富雄	支部幹事	地或活性化委員会	機械
高橋 正人	支部幹事	地或産業支援委員会、地或活性化委員会	機械
浜端 英男	支部幹事	地或産業支援委員会、地或活性化委員会	上下水道
速川 敦彦	支部幹事	CPD委員会	機械 総合技術監理
藤田 賢二	支部幹事	地或産業支援委員会、地或活性化委員会	金属
松本 良一	支部幹事	地或産業支援委員会、地或活性化委員会	建設
森永 清	支部幹事	地或産業支援委員会、地或活性化委員会	建設
山田 敏広	支部幹事	地或産業支援委員会、地或活性化委員会	建設
特別職 副委員長委属			
須郷 均	地或産業支援委員会副委員長	地或産業支援委員会	情報工学

総務企画委員会

埼玉県支部総務企画委員長 白岩 信裕

2021年度の役員改選により、総務企画委員長を拝命した白岩信裕です。支部幹事としてCPD委員会と総務企画委員会において支部開催行事に係る業務に長く携わってまいりました。この経験を活かし皆様のお役に立てるよう活動するつもりです、よろしくお祈りいたします。

2021年度の年次大会は7月31日につつがなく終了しました。これからは新支部長のもと、新組織の持てる機能を如何なく発揮して欲しいと考えており、それを支える総務企画の責務の重さをひしひしと感じております。

とはいえ、残念ながら新型コロナウイルスの感染防止のため、現在外出の自粛がなされ人の往来が滞りがちのため、活動が制約されていますが、積極的にWeb等を活用し、滞りなく業務が進められるよう、諸委員会活動、技術士活動の支援を図ってまいりたいと思っています。

2021年度における総務企画委員会活動の課題と目標は以下の通りです。

- 1) 今年度は支部の創立10周年を迎えましたのでそれを祝して記念事業の企画を推進いたします。支部の運営に関係した方に広く声をかけ事業が円滑に実施できるよう図りたいと思いますので、その際は協力をお願いいたします。
- 2) 継続して協賛団体を増やすよう努めます。既に7団体から協賛をいただいておりますが、今後も継続的に増やすよう努めます。
- 3) 技術士知名度の向上のため、技術活動紹介のリーフレット等の刷新や発行、活動支援のための備品類の充実を図ります。埼玉県の発展を目指し、それに貢献できる技術士活動を総務面からフォローしていきたいと思っています。当委員会への、皆様からご提案・ご意見をお待ちしております。

CPD委員会

埼玉県支部CPD委員長 増古 恒夫

本委員会では、16名の委員が1) CPD行事の企画・実施、2) 技術士倫理の研修、3) 教育機関、若手技術者への技術士制度普及、参加者の満足度向上、技術士資質の向上を目指し、活動しています。今年度前半(4月～9月)は、支部全体行事、各委員会との共催で、講演会を5回、大学生への

技術士制度説明会を5回、コミュニケーション技法習得セミナーを1回実施しました。新型コロナウイルス感染症防止の観点からオンラインでの開催も企画しています。詳細は日本技術士会HP行事案内や会員メールでお知らせいたしますので奮ってご参加ください。

開催月日	場所	行事(テーマ)
11.16	大里郡寄居町	見学会「彩の国資源循環工場」
11.19	大宮駅前東日本連携センター	彩の国産業活性化交流会(ハイブリッド講演)
11.20	オンライン	Web講演「新型コロナウイルス後の働き方の変革」
12.11	ウエスタ川越	講演会「気候危機とSDGs」
12.17	浦和CC(コミュニティセンター)	講演会「産学官連携によるDX/AI/IoT/VR/HMI技術を活用した人に寄り添うものづくり製品開発・人材育成の取組み」
1.8	新都心BP(ビジネス交流プラザ)	技術士研究・業績発表大会
1	浦和CC	「新規開業セミナー」
2	深谷市	見学会「埼玉県彩の国指定工場」
3	浦和CC	セミナー「技術士資格取得制度説明会」

科学技術振興委員会

埼玉県支部科学技術振興委員長 中田 よしみ

当委員会は、科学技術の振興に寄与することを念頭に、児童・生徒を含めた若年層が科学への興味・関心を向けるきっかけとなるような理科実験教室を実施するだけでなく、会員向けに科学知識継続学習ができるような講習会等を実施しています。

【2021 年度上期の活動報告】

1) 講演会

2021 年6月22日 新型コロナウイルス感染症拡大防止の上、使用済み核燃料の地層処分に関する講演会を、さいたま市内で実施しました。

2) 理科実験教室

2021 年7月30日、さいたま市内の学童保育所で理科実験教室を実施しました。

(右掲の写真参照)

報告の詳細は県支部HPに掲載していますので、ぜひご確認ください。

【2021 年度下期の活動予定】

1) 10月 理科実験教室

2) 実験コンテンツ研鑽など

新生活様式にも対応できるように ON-LINE 実験対応検討し、さらに活動できる機会を増やしていきたいとも思っています。

また、皆様の知識・情熱を生かし、当委員会で活動を希望する会員も随時募集しています。



(学童保育所での実験教室の様子)

地域産業支援委員会

埼玉県支部地域産業支援委員長 近藤 孝

地域産業支援委員会の重要なミッションは、「技術の力で地域の発展に貢献する」ことにあります。2021 年度は『アフターコロナをにらみ活動強化』をスローガンに、活動を進めています。

新型コロナウイルスのために一部の活動が停滞を余儀なくされていますが、Web を有効活用して企業様のご要望に応えるよう継続努力してまいります。

1. 社会貢献活動

2019 年の水害多発に鑑み、防災支援グループを立ち上げましたが、DIG (図上演習) をツールとして水害避難の際、地域の安全安心を確保することを目的に、立正大学の学生への DIG 講習を行う準備を進めています。

2. 地域産業支援活動

技術問題にお困りの企業様、どこに相談したらよいか分からない場合は、まず技術士へお声がけください。

1) さいしんコラボ産学官様と連携した「技術相談会」を、秋頃に予定しています。オンライン相談

会になる可能性が高いですが、積極的なご相談をお待ちします。

2) 理化学研究所の VCAD システム研究会への支援を2019 年から行っています。

理化学研究所の研究シーズ活用による企業様の生産性向上、DX 推進のご協力を行いますので、積極的なお声がけをお待ちします。

3) 中小企業 119 へ技術士の登録を進めています。中小企業 119 での技術相談をお待ちします。

3. 外部への技術士紹介活動

2021 年度は各種展示会が中止やWeb開催に変更される中で、彩の国ビジネスアリーナには出展し、技術士活動の紹介を実施する予定です。技術士の活動をまとめたパンフ「技術士はこんな支援活動ができます」を充実させ、技術士の活動PRに努めてまいります。是非ご利用ください。

地域活性化委員会

埼玉県支部地域活性化委員長 若林 直樹

地域活性化委員会は、北部・西部・東部の各小委員会活動を基盤とし、各々の地域の特性をふまえて対応してきました。本年度も、支部の基本方針である「技術の力で地域の発展に貢献」のもと、きめ細かな活動を展開していきます。主たる活動は、CPD 行事の実施と各商工会議所との連携があげられます。新型コロナウイルス感染拡大のなか、対面方式の活動に制約が生じていますが、Web 会議の効率的な活用により、さらに活動を推進していきます。

以下に、本年度の北部・西部・東部の各々の地域の CPD 行事等の活動状況と今後の計画を記載します。

(1) 北部地域小委員会：本年度は、6月24日にCPD行事「熊谷の気候と川を知り、水害への自助の備え」講演会を開催しました。気象庁熊谷地方気象台次長、立正大学地球環境科学部地理学科教授、当支部所属技術士による講演を行いました。コロナ禍のなか、22名が参加し活発な議論が交わされました。なお、本年度は廃棄物選別ロボット導入の「産業廃棄物処理施設」見学会を計画しています。

(2) 西部地域小委員会：CPD 行事として「資源循環工場」見学会と「気候変動とSDGs」講演会の開催

を計画しています。

SDGs に関する講演会に関しては、昨年度に実施しましたが、注視すべき課題でもあるので、引き続き取り組みを推進し、SDGs への理解及び意識向上を図っていきます。

(3) 東部地域小委員会：CPD 行事として「新型コロナウイルス後の働き方の変革」講演会の開催を計画しています。当講演会ではコロナ禍で急速に展開されたテレワークというデジタル化に対しコロナ後のビジネスの行方について議論したいと考えています。また、地域自治体や商工会との連携を図っていきます。

以上のように、CPD 行事開催により地域との繋がりを強めることに注力するとともに、技術士一人ひとりの資質向上にも努めていきます。とくに、今後は各々の地域に根差した活動を推進し、一人でも多くの地域の方々に技術士についてもっと知っていただきたいと願っています。そして、技術士との協働の場をつくり上げることによって、社会のニーズにこたえ、地域の発展や安全安心のまちづくり等に貢献していきたいと考えています。

2021 年度埼玉県支部技術士試験合格者祝賀会報告

埼玉県支部 CPD 委員 白岩 信裕

2021年5月22日（土）、埼玉県支部2021年度技術士試験合格者祝賀会を、新都心ビジネス交流プラザ（JR北与野駅前）で新型コロナウイルス感染防止対策を講じ開催いたしました。参加者は、合格者13名を含む35名でした。

開始に当たり、増古支部長から祝辞と支部組織の紹介をいただき、続いて六つの委員会（総務、CPD、科学技術振興、地域産業支援、地域活性化）の活動内容が各委員長から約1hrかけ紹介されました。

その後休憩を挟み、記念特別講演が行われました。講師は技術士（建設、森林部門）の株式会社ジェイアール総研エンジニアリング 木村礼夫氏で、演題は「技術者倫理について 一どのように取り組むか？」でした。講演後は、活発な質疑応答がなされ、理解し易く有益な話を頂戴いたしました。

講演後は、技術士一次と二次試験の合格者による自己紹介がなされ、先輩技術



講師 木村 礼夫氏

士から歓迎の拍手をいただきました。祝賀会はこれをもって閉会いたしました。講演要旨は次の通りです。

- 1) 技術者倫理は、技術者を含む全組織の倫理と
考え、提供する技術を使う人全てに対し倫理を適用する必要がある。
- 2) 不正は皆無とはならない。その理由は様々である。その中、集団思考と個人の欲が特に問題で、複数人の関与で不正が組織的に行われる。
- 3) とはいえ不正を認識したら改善に向け最善を尽くす。その際、全体像把握ため複数の人が関与して行うとよい。公益通報は有効であるが秘匿、匿名性に注意する。また未然防止のために、不祥事の事例集を用いた教育を行う。教育には不正を正した良い事例を用いるのが望ましく、創作した事例であってもよい。
- 4) 倫理は普段から公益確保を意識し自発的に実践すれば、少なくとも不正による被害は最小化できる。



(合格者の皆様)

🔗 新技術士会員の紹介

大崎電気工業株式会社 石井 孝暢 (いしい たかのぶ) (電気電子)

私は、エネルギー計測・制御システムの開発に携わっています。担当している業務では、装置に関する電子的な知識のみならず、ネットワーク、データベース、クラウド、セキュリティといった幅広い技術領域について理解を必要とします。そのため、常に新しい技術に追い付こうと、日々奔走しています。

私が技術士を目指すことになったきっかけは、社外の先輩技術士からのすすめでした。技術士が技術系最高峰の資格ということを知り、あこがれを抱き挑戦を決意しました。一次試験は大きな苦勞なく合格することができましたが、その年の二次試験であえなく惨敗。自信とやる気を失い、その後10年間技術士試験から遠ざかる日々を過ごしました。しかし、技術者としての業務経験を重ね、自らがチームを率いる立場になると、部下や後輩の模範として“このまま試験から逃げ続けていて良いのか”という気持ちが生え、挑戦を再開しました。

再開後は学習時間を確保するため、夜型であった生活を朝型に一変し、朝の時間を有効に使いました。はじめはコンスタントに早起きすることができな

ったり、日中時間帯のパフォーマンスが下がったりと生活リズムの変化への対応に苦勞しました。試験対策を通じて得た収穫は、業務経歴の棚卸しを行うことにより、これまでに得た知識と経験が整理され、この先習得すべきスキルが明確になったことです。その上で将来のキャリア形成のためにも、絶対に結果を残したいという想いがモチベーションの維持につながりました。

晴れて合格後に参加した技術士会の祝賀行事では、様々な部門の技術士の方と知り合うことができました。そして、皆さまの技術に向き合う姿勢に感化され、自己研鑽の意欲が沸き上がって来ました。今後は、日本の更なる技術力向上のために、かつて私が先輩技術士からすすめられたように、一人でも多くの技術者に技術士を目指すきっかけを作れたらと考えています。これからもご指導のほどよろしくお願いたします。



石井 孝暢氏

🔗 新技術士会員の紹介

電気設備エンジニアリング会社 大竹 史郎 (おおたけ しろう) (電気電子)

1982年入社以来、約40年一貫して受変電設備に関わる仕事をしてきました。入社時は設計でしたが、営業技術、アフターサービスと受変電設備の川上—川中—川下と一連の仕事に携わって来ました。

健康である限りは、直接お客様とコミュニケーションをとれる技術職を続けたく、この7月に40年在籍していた会社を退職し、新たな会社で業務を開始しました。お客様のニーズにあった更新計画提案、技術開発や、受注案件の担当、若手技術者の育成などを行っていきます。

エンジニアリングが主な業務ですが、人と人とのつながりが大切で、コンピテンシーの、コミュニケーション、リーダーシップ、マネジメントなどを多く活用します。どちらかというと面倒なことが多いのですが、これを切り抜ければと新たなシステムができあがり、達成感をえることができる世界だと思えます。そういった苦しさや楽しみを若い方に味わってもらおうのも企業技術士の役目だと認識しております。

受変電設備は、期待寿命以上に使用されることもあり、点検もしないまま事故に至り、結果的に大き

な損害になってしまったケースもあります。こういった事態にならないよう適切な点検の推奨と結果を整理し、診断技術を盛り込みながら最適な更新提案をしていきたいと考えています。

また、技術的に成熟した装置が多いですが、IoTやAIの新しい技術も取り込んでいき、ランニングコストの低減や人手のかからない予防保全につなげていきたいです。これを実現するためにも、部門を超えた社外の技術士の方との交流が必要で、多くのことを吸収するため埼玉県支部活動への参画も積極的に行っていきたいと考えております。古い技術も新しい技術も融合させ、日々研鑽を重ねながら社会に貢献すべきと考える次第です。

仕事もプライベートも充実するために、ランニングやテニスを継続することで健康を維持していきたいと考えています。

何でもお気軽に声をかけ、ご指導いただければと願っております。



大竹 史郎氏

🔗 新技術士会員の紹介

日立金属株式会社 金内 良夫 (かねうち たかお) (金属 総合技術監理)

令和元年度に金属部門(金属加工)に合格、令和2年度に総合技術監理部門に合格いたしました。現在は自動車部材向けアルミニウム合金の鋳造技術、新材料の研究開発を業務としております。取得の動機は、ある顧客との打ち合わせの中で「金内さん、そろそろ技術士取得してもいいのではないですか?」という一言でした。「そう見られているなら頑張ってみようかな」と一念発起、遅まきながら平成最後の1次試験受験から技術士の門をたたきました。

業務経歴としては、入社直後には構造系CAEによる金属部品の塑性変形を伴う損傷予測技術を担当しました。その後、アルミニウム合金の新しいダイカスト工法の研究開発へ応募できる機会があり、それをきっかけに19年間、ずっとアルミ鋳造の世界で業務を行い、更なる新工法や新材料の開発と、それらを用いた部品開発に携わりました。その後、耐熱ステンレス鋳物の製品開発の経験を経て、新規ビジネス創出部門で少し視点を上げた市場探索

業務を行い、現在のアルミ関連の研究業務へ戻りました。各職場での諸先輩方からの叱咤激励、手厚いサポートも忘れられません。当時は十分に咀嚼できなかった内容も、今では後進の指導において大変役立っております。



金内 良夫氏

入社当時は「環境保護」という言葉が登場した頃でした。現在はグローバル規模で、環境悪化を抑制する有効かつ安全なアクションが求められる時代になっています。この問題に対し、様々な分野で解決すべき課題が生じていると思います。個々の課題解決に対し、分野毎のプロフェッショナルである技術士業務と、非常に高い親和性があると感じます。埼玉県支部の諸先輩方と共に、取り組める機会を得たことを感謝しております。諸先輩方々のご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。

🔗 新技術士会員の紹介

株式会社日本インシーク 中村 剛 (なかむら ごう) (建設 総合技術監理)

令和元年度技術士二次試験(総合技術監理部門[建設-電力土木])に合格しました。現在、建設コンサルタントに勤務しており、水力発電所の調査・計画・設計等に従事しております。

水力開発は100年を超える歴史のなかで、国内有望地点は開発済みとなっており、未開発地点は山間奥地など開発困難な場所が多く、開発コストの低減が課題とされています。そのような中、大規模なダム建設などの自然改変を伴わない中小規模の開発が主流となっています。また、老朽化した発電所をリニューアルし、延命化する施策が近年数多く行われている状況です。

私は入社して電力関連の土木設計を行う部署に配属され数年過ごした後、揚水発電所の建設現場に現場監理員として5年ほど出向しました。その後、社に戻ってからは、中小水力の新規地点開発に伴う計画・設計に長く関わってきました。小規模な堰堤を設けて取水する従来型の一般水力のほか、既設農業用水路・砂防堰堤・水道施設等の未利用落差を活用するタイプがあります。

近年は、既設発電所の更新設計として、水車・

発電機等の機器取替えに伴う基礎設計や、水圧鉄管と呼ばれる圧力配管の取替え設計を行っています。高効率化した最新機器導入による発電出力増強は、再生可能エネルギーの拡大にもつながるものです。



中村 剛氏

技術士という資格は、入社以来常に目標としてきましたが、なかなか結果が生まれませんでした。二次試験の面接で不合格となる経験も経て、ようやく合格することができた時の達成感と安堵感はとても大きなものでした。

技術士を取得してからは、仕事の幅が広がり様々な業務に接する機会が増えてきました。それと同時に、自身が携わった仕事に対する責務の重さを以前にも増して感じています。

今後は、再生可能エネルギーの維持・拡大に貢献できるよう、また地域社会にも貢献できる技術士を目指し、研鑽を重ねてまいりたいと思います。

2021年度 埼玉県支部年次大会報告

埼玉県支部CPD委員 伏見 隆夫

はじめに

2021年7月31日(土)、埼玉県支部2021年度年次大会を、埼玉会館(さいたま市浦和区)で新型コロナウイルス感染防止対策を講じて開催いたしました。参加者は38名でした。第1部では、支部活動結果と方針を示し、役員改選に伴う新組織の紹介を行いました。第2部では、CPD特別講演を行い、(公財)埼玉県産業振興公社理事長 神田文男氏から産業振興公社の産業支援の成果と今後の方針に関しお話を戴きました。

第1部 年次大会(13:30~15:25)

増古恒夫支部長から支部の前年度活動実績と今年度活動方針の説明及び新組織の紹介がありました。続いて委員会活動実績と計画について報告がなされました。総務企画委員会は村山肇委員長、支部会計は菅原宏会計担当、CPD委員会は白岩信裕委員長、科学技術振興委員会は黒澤兵夫委員長、地域産業支援委員会は近藤孝委員長、地域活性化委員会は穴戸富雄委員長が報告しました。

その後、役員改選後の新組織のメンバーが各々自己紹介を行い、増古恒夫支部長から引き継いだ若林直樹新支部長が就任の挨拶を行いました。挨拶では、抱負として「技術士会活動により技術士の知名度向上を図る。社会貢献のあり方を工夫、研究し、その成果を次年度開催の支部創立10周年記念事業で発表できたら喜ばしい」と述べられました。

第2部 CPD特別講演会(15:40~16:55)

演題名:「埼玉の中小企業を元気に!~コロナ禍における埼玉県産業振興公社の取り組み~」

(公財)埼玉県産業振興公社理事長 神田文雄氏

現在の経済情勢下の中小企業の経営環境を、多面的な視点から解説され、続いて産業振興公社の前年度の活動実績と今年度の施策が述べられました。前年度は、埼玉県よろず支援拠点の経営相談件数の増加、オンライン彩の国ビジネスアリーナへの来場者増加が果たせています。



講師 神田 文雄氏

今年度は以下5つの施策を進めます。

- 1) BCP策定支援事業: アドバイザー支援
- 2) 創業支援事業: 起業家、アドバイザーによる伴走支援
- 3) 海外ECの活用支援: 海外ECサイト出店支援
- 4) 業態転換支援: 新分野への事業展開に対しコーディネート伴走支援、競争的資金の獲得支援
- 5) デジタル化支援: DX、AI、IoT、ロボット等の導入支援

講演は、中小企業支援に対する産業振興公社と技術士の連携活動の必要性を、改めて認識させるものでありました。

埼玉県支部協賛団体の紹介

(団体名はカギ括弧)

1. ベルセッジ・インコーポレイテッド
(代表: 菅原宏様)
2. NPO 法人 彩の国技術士センター
(代表理事: 山本幸夫様)
3. 有限会社 中村金属工業
(社長: 三木虎連様)
4. 共和コンサルタント 株式会社
(社長: 小山一裕様)
5. 一般社団法人 技術士さいたま
(理事長: 中村憲雄様)
6. 株式会社 テクノクオリティ
(社長: 渡部利範様)
7. 株式会社 日さく
(社長: 若林直樹様)

編集後記

本号は、役員改選後の支部新体制と新会員(技術士試験合格)の紹介に特化し報告いたします。

従って前号で取り上げました会員の活動紹介ができませんでした。次号以降に取り上げたいと思います。

我が国は新型コロナウイルス感染の脅威が未だ治まらず、かつ豪雨災害も多発し、危機管理の必要性が改めて認識されています。それに関連し技術士の各分野での活躍・貢献が求められるところです。

本誌もその一助になればと思います。夜も長くなり千思万考するにより季節となりました。皆様のご意見をお待ちしております。

おくづけ	公益社団法人日本技術士会 埼玉県支部 こうほう・彩の技術士 第18号
発行年月日	2021年11月1日発行
発行者	埼玉県支部(支部長: 若林直樹)
E-mail	saitama@engineer.or.jp
編集	埼玉県支部総務企画委員会